

大滝ダム貯水池内における 赤茶褐色の湖面の変色について（第4報）

○大滝ダムの貯水池内で確認された毛藻綱^{もうそうこう} ペリジニウム*1を原因とする、赤茶褐色の湖面の変色について監視を行ってきましたが、平成29年5月25日に再度確認されたので現状をお知らせします。

○平成29年5月25日の変色は鍬の瀬橋から下多古迂回路1号橋下流付近で確認されています。

○平成29年5月25日に採水を行い、再度分析を行ったところ原因はこれまでと同じ渦鞭毛藻綱^{うずべんもうそうこう} ペリジニウムであることが確認されました。引き続き監視を続けます。

○渦鞭毛藻綱^{うずべんもうそうこう} ペリジニウムは植物プランクトン的一种であり、各地の湖沼や池に広く分布し、冷水期に出現して赤潮を形成することもあります。おおよそ、表層水温が15℃前後の時期より出現しはじめ、24℃以上になると消滅します。毒性やカビ臭の報告はなく、人体に影響はありません。

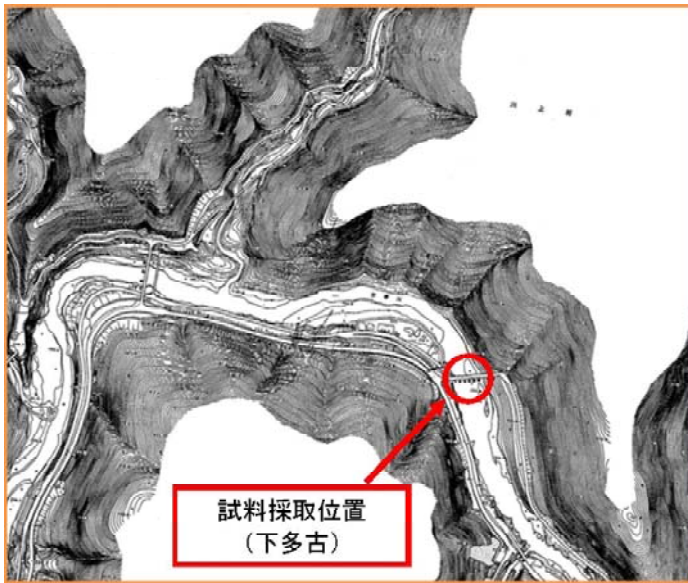


*1：原因種は渦(うず)鞭(べん)毛(もう)藻(そう)綱(こう) *Peridinium bipes* でした。

*Peridinium bipes*は多くのダム湖や天然湖で多量に発生することが知られており、わが国における淡水赤潮の大半は本種による。本種による赤潮は、富栄養化とは関係のない水域で多く起こっており、原因を水中のカルシウム塩濃度に求める考えもあるが、まだ定説となるには至っていない。

※ 1目盛=10μm

○採水箇所



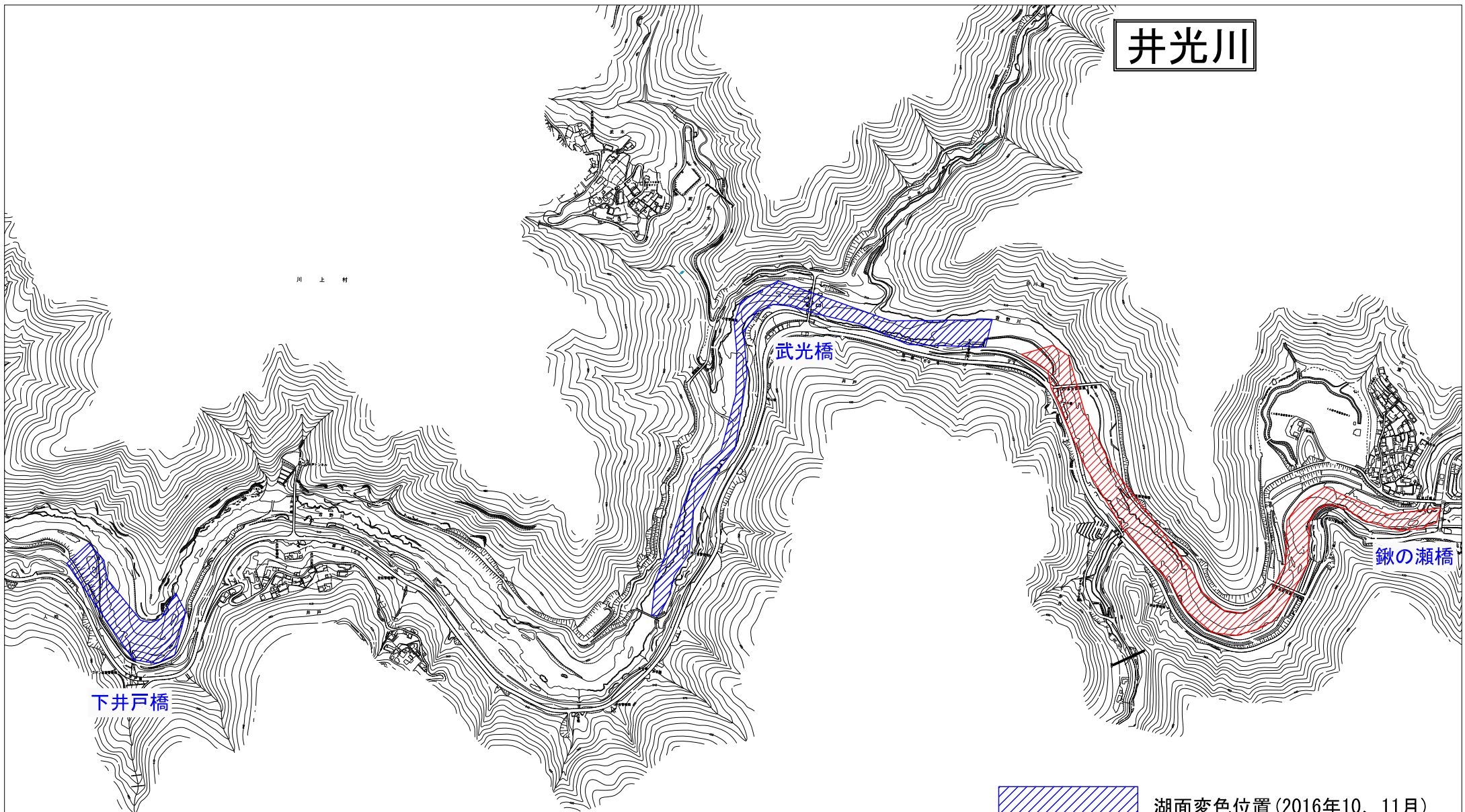
下多古迂回路1号橋付近

○プランクトン同定試験結果

堰名		大滝ダム		調査年(西暦) 2017年	
堰コード					
1 調査コード					
2 調査地点		下多古			
3 採水位置		表面水			
4 全水深	m	8.5			
5 調査月		5			
6 調査日		25			
7 調査開始時刻:時		17			
8 調査開始時刻:分		40			
9 天候		曇			
10 気温	℃	18.9			
18 採水水深	m	0.1			
20 透視度 (河川)	cm	75			
21 外観		淡茶褐色透			
22 臭気 (冷時)		無臭			
綱名	科名	種名 (学名)			
クリプト藻	Cryptomonadaceae	CRYPTOPHYCEAE	+		
渦鞭毛藻	Peridiniaceae	<i>Peridinium bipes</i>	+++		
珪藻	Diatomaceae	<i>Asterionella formosa</i>	+		

凡例 : + 少ない、 ++ 多い、 +++ 非常に多い

井光川

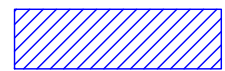


下井戸橋

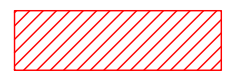
武光橋

鍬の瀬橋

川上村



湖面変色位置 (2016年10、11月)



湖面変色位置 (2017年5月25日)

